

令和6年12月能代市議会定例会

市長説明要旨

令和6年12月能代市議会定例会の開会に当たり、提出議案の説明に先立ち、その後の市政及び諸般の動きなど、その大要を御報告いたします。

初めに、職員の不祥事についてであります。強要未遂で逮捕、起訴され、その後、不同意性交等の容疑で再逮捕された市教育委員会職員を、11月25日、懲戒免職処分といたしました。

被害にあわれた方、御家族に対し、心よりお詫び申し上げますとともに、市政に対する信頼を大きく損ねたことを市民の皆様へ深くお詫び申し上げます。

職員に対しては、公務外においても公務員としての立場を十分に自覚するよう厳しく指示したところであり、改めて綱紀肅正を徹底し、市民の皆様の信頼回復に努めてまいります。

次に、こどもの遊び場の整備についてであります。市民との意見交換や各種ニーズ調査等において要望が多くあることから、本市の最重要課題の一つであるという認識のもと、令和6年5月に関係課長によるこども・子育て交流施設整備推進庁内会議を設置したほか、子育て中の職員13名による子育て分科会を設置し、全庁体制で検討を行ってまいりました。

分科会からは、大型遊具等を備えた屋内の遊び場のほか、屋外の遊び場や子育て支援機能の併設等、保護者視点から必要と考えられる機能を包括的に整備することを求める提言が出されました。庁内会議では、提言等をもとに、屋内の遊び場整備の実現に向け、課題を整理した上で、必要機能や候補地等について、様々な観点から検討を行いました。

市ではこうした検討を踏まえ、既存施設との連携により、充実したこども・子育て支援環境を整備していくという考えのもと、屋外大型遊具や芝生広場、子ども館等のある河畔公園を新たな遊び場の整備候補地とする基本方針を取りまとめました。

基本方針では、こどもをまんやかに遊びを通してみんながつながり育ち合うこどもまんやかエリアの創出を基本コンセプトに、こどもの健やかな成長を促す遊びの環境づくり、保護者が安心して子育てができる環境づくり、地域の多様な世代が関わる子育て環境づくりの3つの視点を取り入れ、エリアの中核施設として、こどもまんやか交流施設を整備することとしております。

施設の機能として、遊びの空間に加え、子育て支援に関する相談等を行う行政機能や保護者同士が交流できる空間等を整備し、周辺施設との連携により、こどもの育ちと保護者の子育てを地域全体で応援できるよう、7年度中に施設の規模や機能の詳細等についての基本計画を策定してまいりたいと考えております。

廃校舎の利活用についてであります。県外で私立小学校を運営している学校法人の関係者から、本市での新たな学校開設の可能性を検討したいとの意向が示されました。

この私立小学校は、学習指導要領に基づく教育を行いながら、こどもが自ら考え行動する自発的な態度や、他者を尊重し互いに協力し合う姿勢の育成を目指す教育を実践するとともに、児童と保護者の家族ぐるみでの移住により地域の活性化にもつながっていることから、全国的にも注目されております。

市といたしましては、関係者の意向を確認しながら対応してまいりたいと考えております。

次に、女流本因坊戦についてであります。第43期5番勝負の第2局が10月20日、旧料亭金勇で行われました。対局では、藤沢里菜女流本因坊が挑戦者のにゆうえいこ牛栄子四段を下し、2勝目を上げております。

その後の勝負は、3勝2敗で藤沢女流本因坊がタイトルを防衛され、5連覇を達成し名誉女流本因坊の資格を得ております。

能代市対局の際には、記念事業として、記念囲碁大会と前夜祭、大盤解説会を開催したほか、本市出身の加藤正人さんが脚本を手掛けた映画「碁盤斬り」が上映され大いに盛り上がりました。関係者からは、市民及び関係団体のおもてなし等に感謝の言葉をいただいております。開催に御尽力いただきました日本棋院能代山本支部をはじめ、関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

今後も本因坊戦及び本因坊戦にちなんだ大会を誘致することにより、旧料亭金勇及び能代市を全国に発信するとともに、賑わいの創出や地域の活性化につなげてまいりたいと考えております。

次に、第2期能代市地域福祉計画の策定についてであります。地域福祉計画は、高齢福祉、児童福祉、障がい福祉、保健・医療等の各福祉分野の行政計画や施策、その他の関連計画と整合性・連携を図りながら、地域福祉の推進を目的として定めるもので、計画期間を令和7年度から11年度までの5年間とし、6年度中に策定することとしております。

本計画は、政策的に関連の深い、成年後見制度利用促進基本計画及び再犯防止推進計画と一体化した計画といたします。

今後、計画の素案について議員の皆様にお示しするとともに、パブリックコメントを実施し、能代市地域福祉計画推進委員会において最終案を取りまとめてまいります。

次に、白神ねぎの販売状況についてであります。作付面積が拡大していることや連作障害を防ぐための農地ばぐりっこ対策により改植が進んだこと、天候にも恵まれ品質が向上したこと、太物中心の出荷で高値が続いていること等から、概ねJAあきた白神の販売計画どおり推移し、11月末現在の販売額は18億円を超え、過去最高を記録しております。

今後も、秋冬ねぎの出荷が続く、降雪後は雪中ねぎ等の出荷を控えていることから、販売額は更なる上積みが見込まれており、生産者、JAをはじめとした関係の皆様とともに期待しているところであります。

次に、能代市公共下水道事業計画区域の拡大についてであります。現事業計画区域1,166.3ヘクタールのうち、令和5年度末現在で約955ヘクタールの面整備を終え、整備率は82パーセントに達し、今後3年程度で現計画を完了する見込みとなっております。

8年度から着手を予定している次期事業計画区域については、5年度に見直しをした能代市生活排水処理整備構想に基づき、向能代分区130.8ヘクタール、農業集落排水から公共下水道への接続を予定している浜浅内分区9.8ヘクタール等を13年度までに整備することとし、都市計画法及び下水道法に基づく事業計画区域拡大の手續や条例改正の準備を進めております。

次に、きみまち阪公園開園100周年記念事業についてであります。きみまち阪が公園として開園されてから100年を迎えた11月3日に、市をはじめ、関係機関及び関係団体の委員で構成された実行委員会により、きみまち阪公園第1広場で記念式典が開催され、市内外から多くの皆様が来園されました。

式典では、記念植樹を行ったほか、小繋郷土芸能保存会の駒踊りをはじめ、100年前の開園式で行われたとされる手踊りを模して、二ツ井小・中学校の児童生徒やふたつ女性連合会、二ツ井町商工会女性部による二ツ井音頭が披露されました。

同日には、二ツ井町観光協会による「うまいもの大集合 in 二ツ井」や、二ツ井小・中学校による「きみまちカンパニーフェスティバル」、能代市民俗芸能連合会による合同発表会が開催されました。また、二ツ井町商工会による明治天皇の玄孫^{やしやご}である竹田恒泰氏の「明治天皇ときみまち阪」と題した記念講演会が二ツ井小学校^{ただつねやす}で開催され、多くの来場者で賑わいました。

市といたしましては、きみまち阪公園が次の100年に向け、今後も、より多くの皆様に愛され、親しまれるよう魅力を発信するとともに、賑わいの創出や地域の活性化につなげてまいりたいと考えております。

次に、東京都豊島区との教育連携についてであります。平成25年の教育連携協定締結から、今年で11年目を迎えました。これまでに、教育視察訪問や教員派遣研修、生徒訪問等を通じて、互いに交流を深めるとともに、学び合いながら教育の質の向上に努めてまいりました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、往来が難しい時期もありましたが、オンラインで学校同士を結ぶフレンドスクールを通じて、教職員及び小中学生の交流を継続してきたほか、中止しておりました能代市からの教員派遣研修も、今年度から再開いたしました。

今後も、この貴重な連携を維持・発展させながら、更なる教育の充実を目指してまいります。

次に、単行議案について御説明いたします。

能代市市税条例等の一部改正は、能代市市税条例等に定める督促手数料を廃止するとともに、諸収入金に係る延滞金の割合を引き下げる特例を設けようとするものであります。

秋田県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び秋田県市町村総合事務組合規約の一部変更は、井川町・潟上市共有財産管理組合の解散に伴い、秋田県市町村総合事務組合規約の変更等をしようとするものであります。

このほか、能代松原ホームほか4件の指定管理者の指定について提案しております。

次に、令和6年度能代市一般会計補正予算案の概要を御説明いたします。

このたびの補正予算については、これまでに国、県から内示等を受けた事業について所要額を計上したほか、市単独事業は、当面緊急を要するものについて補正しております。

まず、歳入の主なものとしては、市税は法人市民税の追加、国庫支出金は障害児通所給付費等負担金の追加、予防接種健康被害給付費負担金の計上、県支出金については、障害児通所給付費等負担金の追加、繰入金は財政調整基金繰入金の追加、市債は林業専用道整備事業（負担金）債の追加等であります。

次に歳出の主なものについて御説明いたします。

民生費においては、障害児通所給付費等事業費1,436万5千円を追加したほか、過年度国庫負担金等返還金として、社会福祉費関係と生活保護費関係を合わせて1億8,043万5千円を計上し、児童福祉費関係200万2千円を追加等しております。

衛生費においては、予防接種健康被害給付金4,551万2千円を計上し、過年

度国庫負担金等返還金として、保健衛生費関係6,508万2千円を追加等しております。

農林水産業費においては、夢ある畜産経営ステップアップ支援事業費補助金461万9千円を計上し、林業専用道整備事業費574万8千円を追加等しております。

教育費においては、小学校管理費470万4千円、中学校管理費273万3千円、文化会館費の管理運営費として266万3千円、学校給食管理費505万4千円、学校給食費物価高騰対策支援事業費406万1千円を追加等しております。

以上、一般会計補正予算案の概要を申し上げましたが、補正額は3億5,479万7千円となり、これを10月1日専決処分した後の既定予算に加えますと、一般会計の総額は361億8,208万7千円となります。

このほか、令和6年度各特別会計補正予算案につきましては、提案の際、詳細に御説明いたしますので省略させていただきます。

また、承認案件として、専決処分した令和6年度能代市一般会計補正予算を提出しております。

なお、能代市職員の給与に関する条例及び能代市一般職の任期付職員の採用等に関する条例、能代市特別職の職員の給与に関する条例、議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例及び能代市教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正について並びに関係補正予算については、後日追加提案させていただきます。

以上、よろしく御審議の上、適切な御決定を賜りますようお願い申し上げます。